

# 学習用ソフトウェアの作成について

## 1. エリア番号及び連絡担当者・連絡先

エリア番号 7 柏市立教育研究所 西田光昭  
Tel 0471-45-2110 Fax 0471-43-5787

## 2. 研究を行う地域及び担当者名

千葉県柏市 担当者 西田 光昭

## 3. ソフトウェアの概要

### 「地域学習素材のデジタルコンテンツ」

本事業で取り組むネットワークを活用した共同学習において、児童生徒が調べ学習の資料としたり、レポートをまとめたりする時に利用しやすい形の学習素材を用意する。

#### (1) 柏市の学習素材

柏市全体の特色、様々な地域の特色、産業（商業、農業、工業）、伝統工芸、歴史市作成の副読本の補助資料を中心に、写真、動画をデジタル化し、ネットワーク上で利用できる形にする。

#### (2) 千葉県の学習素材

千葉県内の博物館の資料を、自然、産業、歴史を中心に写真・説明資料をデジタル化し、ネットワーク上で利用できる形にする。

## 4. ソフトウェアの必要性

本事業において、地域ネットワークを活用した共同学習の中で、児童・生徒がコンテンツを作成してデータベース化していくことを計画している。そのために、その素材となるデジタルデータを作成する。

従来柏市においては、小学校3年生の副読本の補助資料が利用されていたがネットワーク上で利用するには適さない形式（FM-TownsのTiff形式）であった。当時から、スタンドアローンのコンピュータでも提示資料としての活用がされ、コンピュータの台数が十分な学校においては、児童の調べ学習の資料としてのみならず、学習のまとめにおいても利用していた。今後、ネットワークを利用していくことができるようになると、個々の児童が利用していけるようにしていくことができるようになり、それに対応した学習素材が必要になる。取り組みの計画では、これらを使って児童が作成したコンテンツをデータベース化し、共同学習を進めていこうとしているので、共通して利用できる素材となるデジタルコンテンツが必要になる。

また、従来は小学校3年生の地域学習に特化したデジタルデータであったが、広く

中学性の公民・地理・歴史でも活用できるデータへと質・量ともに高めていきたい。

柏地域ではクローズドなネットワークとオープンなネットワークの使い分けをしていこうとしていることを生かし、著作権の上でクローズドな部分での利用のみを認められたものは、クローズドな部分で運用するが、一般公開を認められたものはオープンな部分で運用する。そのことにより、他地域でも利用することが可能になる。

## 5．ソフトウェアの制作者に関する見込み

## 6．納入場所